

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	旧妹尾銀行林田支店 (PORT ART&DESIGN TSUYAMA)
(2) 指定管理者	所在地 岡山県苫田郡鏡野町古川 8 8 8-1 名称 EKG 合同会社 代表者 飯綱 洋平
(3) 公の施設の所管部署	津山市産業文化部文化課
(4) 指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	7,438 人 (前年度 4,997 人)
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業 ・カフェ事業 ・自主企画事業 (展示会) (絵画展・写真展・ガラス展・陶芸展等) ・前撮り事業 ・イベント事業 <p>年間稼働率 84.13% (前年度 77.03%)</p>

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 16,888 千円 (前年度 11,614 千円) 利用料金収入 558 千円 指定管理料 5,300 千円 自主事業収入 7,488 千円 その他の収入 3,542 千円												
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 16,858 千円 (前年度 11,477 千円) 主な支出 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr><td>人件費</td><td>6,487 千円</td></tr> <tr><td>光熱水費</td><td>851 千円</td></tr> <tr><td>消耗品費等</td><td>407 千円</td></tr> <tr><td>委託料 (施設管理)</td><td>964 千円</td></tr> <tr><td>負担金・公租公課</td><td>66 千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>8,083 千円</td></tr> </table>	人件費	6,487 千円	光熱水費	851 千円	消耗品費等	407 千円	委託料 (施設管理)	964 千円	負担金・公租公課	66 千円	その他	8,083 千円
人件費	6,487 千円												
光熱水費	851 千円												
消耗品費等	407 千円												
委託料 (施設管理)	964 千円												
負担金・公租公課	66 千円												
その他	8,083 千円												

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>当館へのご意見・ご要望を吸い上げるため、項目別のアンケート用紙を設置し、意見や要望の聞き取りを行っている。また、当館への意見は SNS (HP、Facebook、Instagram、Google Map 等) によるコメントで寄せられることも多いため、定期的にチェックしており、対応を行なっている。また、来館時に要望やご意見を口頭で聞くこともあり、問題・課題抽出や業務改善の種を見つけて、スタッフ間で情報共有を行なっている。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の蔓延による企画展やイベントの中止が相次ぎ、営業日数や利用人数の減少があった。しかし、展示会やコーヒースタンドの広報に力を入れ、SNS を活用した鮮度の高い情報発信を行ったことにより、来館者は日々増加している。館の認知度向上を含む改善策に取り組み、その成果が売上にも反映されてきた。 ・HP には最新の展示会情報の他、過去の主な展示会概要と風景写真を掲載しており、好評をいただいている。 ・アートやデザインにまつわる施設であるので、展示会の DM

	<p>(案内チラシ) のデザイン性にもこだわっており、日々「PORT ART&DESIGN TSUYAMA」のブランド力向上に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会等においては、利用者の要望に応えられるよう努力と工夫を行なっており、感染症対策を行いながら市民の心の潤いになるべく活動できたと感じている。今年度はコロナ禍の中、展示を検討して下さる作家が少なく大変苦勞をしたが、実際に来館した作家からは展示会の希望も多く、館の魅力を感じていただいている証左であろうと思う。 ・コーヒースタンドは、7月から土日祝日のみの営業としており、アイデアを常に出しながら、お客様が喜ぶ季節感あるドリンクの提供に努めている。 ・接客についても、気持ちのよい挨拶やコミュニケーションがお客様と図られており、清々しい気風をつくり出せていると感じている。 ・事業内容が多岐に渡るため、仕事量も多くなっているが、継続していくための方策、持続可能な事業展開の見直しも検討しており、展示会を継続してきた実績は当館の自信につながっている。新聞をはじめ、メディア掲載も増加しており、津山に親しまれるアートスポットとして、今後も市民のために頑張っていきたい。
(3) 市の評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの多くが中止となった中、利用者数、年間稼働率ともに前年度を上回っている。コロナ禍でも様々な展示会が開催できるよう調整を行い、また、SNS等を利用した広報活動を積極的に行ってきたことが成果に反映されていると考えられる。</p> <p>今後はスタッフの負担軽減を含め、よりアフターコロナに適応できるような体制作りを期待する。</p>